

事業計画の特徴

- ・ **地域エネルギー会社である加賀ふるさとでんきを中心としたエネルギーの地産地消体制**を持つ強みを生かし、PPA事業による公共施設への再エネ発電設備等の導入（再エネ利用率の拡大）を進める
- ・ **稲作地域で豊富なため池を保有する利点**を生かした積雪地域での太陽光発電設備の導入や、本市全体の7割を占める**山林（地域資源）**を生かした**木質バイオマス発電設備の導入**を進める
- ・ 本事業を通じて、OFFON（EVカーシェアリング）を広くPRすることに加え、地域防災訓練（動く蓄電池としての活用デモ）など地域イベントでの普及啓発活動を行い、企業や市民の自動車の脱炭素化を促進する

事業計画の概要（民間）

再エネ：120kW

取組（事業者）	規模
木質バイオマス発電設備の導入	・ 3件 ・ 120kW
EVカーシェア	・ 4台
充放電設備の導入	・ 4台

事業計画の概要（公共）

再エネ：1,999kW

取組	規模
太陽光発電設備（PPA等）の導入	・ 4件 ・ 399kW
蓄電池（PPA等）の導入	・ 3件 ・ 90kWh
EMS（PPA等）の導入	・ 3件
ため池を活用した太陽光発電（PPA等）の導入	・ 3件 ・ 1,600kW

事業計画の効果・費用

再エネ導入	CO2削減	総事業費	交付金額	計画期間
2,119kW	22,755 t-CO2	14.4億円	8.3億円	令和5年度 ～ 令和9年度

取組のイメージ

琵琶ヶ池へのPV導入



EV化された公用車